

TOREK 自然農法 ホットニュース

第 105 号 2007.1.25

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者がお互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。

新年おめでとうございます。自然農法ホットニュースも今年で 10 年目を迎える事ができました。これもひとえに、毎月読んで下さる皆様、記事を提供して下さいの皆様のおかげです。ありがとうございます。年々、無施肥無農薬栽培への関心が高まっていることを感じます。今年も、生産者、流通、消費者がお互いの現場を理解し合えるように努力いたしますので、何卒よろしくお願い致します。(編集部)

2006 自然農法頒布会をふりかえって

昨年、鎌ヶ谷会場に於きましては、7月19日の盛大な頒布会をかわきりに、毎月19日に継続して頒布会が開催されました。東中野会場に於いても、秋・冬2回で延べ500名以上の来場者をお迎えし、大盛況でした。無施肥無農薬栽培作物のおいしさを、その場で味わって欲しいという生産者の方々のご協力により、野菜・加工品ともにたくさんの試食品を用意させていただき、いろいろな感想を聞くことができました。



今回初めて無施肥無農薬栽培の作物を食べたという女性は「近頃大豆食品を食べると口の中がヒリヒリするけど、ここ大豆クリームは食べてもヒリヒリしなかった」との事でした。

「さつまいもはボソボソしてるからイヤ」とふだんは食べたがらない3歳のお子さんが、試食のさつまいもを喜んでいくつも食べるのを見て驚かれるお母さんもいらっしゃいました。

生産者の方からも・・・ きじま平自然農産の堀さんは「うちのハウレンソウを買ってくれたお客さんから、スーパーで買うハウレンソウはゆでた後の水をしばらくアトピーの手がヒリヒリするのに、無施肥無農薬栽培のハウレンソウはヒリヒリしなかった、という電話をもらった」と話してくれました。



同じくきじま平自然農産の竹内さんは、今まで出荷した作物がどのように売られ、どういう人が買われているのか、そして食べてどう感じているのかを知りたかったそうです。会場でいろいろな方とお話ができて、「待っている人たちがこんなにいるんだったら作付けを考えなくちゃ」と、ニコニコ顔でした。

スタッフの感想・・・何を買おうか、誰に届けようか、本当に楽しみながらお買い物をさせていただけると沢山の種類と量の無施肥無農薬栽培作物を作った生産者、会場を大変活気づけて下さった購入者の方々、ありがとうございます。そして何よりも頒布会を支えて下さった数十名の協力者の皆様、心より感謝申し上げます。会場では「おいしい」「体に違和感のないやさしい味」「昔食べたことのある味」などの声が聞かれ、消費者と生産者の方と一緒に無施肥無農薬栽培作物の素晴らしさを実感することができました。また、近所に住んでいるお子さんが、ほとんど試食目当てで来ていましたが最後にはお父さんを連れて来ていました。近所の方々が頒布会の開催を楽しみにしてくれるようになったらいいなと思いました。今年も、無施肥無農薬栽培作物のおいしさ、素晴らしさを一人でも多くの方に味わっていただくため頒布会をもたせていただきたいと思います。皆様よろしく申し上げます。

会場の2階ではセミナーも開催されました。

10/29は、ホットニュース94号でご紹介した塩野裕子様が来てくださり、末期の肺癌の状態、無施肥無農薬栽培の作物のみが喉を通り、衰弱を免れ、回復することが出来たお話をしてくださいました。

12/16は先月号でご紹介した、群馬県でリンゴの無施肥無農薬栽培をされている中島敬太郎様をゲストにお招きし、お話を伺いました。

12/17は木島平村の堀政則様より、「無施肥無農薬栽培のナス1個を皆様が購入されることによって、それだけ生産現場では、農薬が減っていく、それは、生産者や、畑の近くを歩く子供たちの健康を守ることにもつながる。ひいては地球環境を守ることにもつながるんです。私達生産者は、多くの方の胃袋まで(食べた後まで)、責任を持つという気持ちで取り組んでいます。」という力強いお話も伺えました。

頒布会のセミナーは、ホットニュースで紹介している方の生の声が聞けるチャンスです。お買い物だけでなく、ぜひセミナーにもお立ち寄り下さい。生産者の方に感想をお伝えすると、とても喜んで下さり、さらなる意欲につながるようです。いただくだけでなく、意見・要望なども消費者の方からどんどん発信していくことで、自然農法の普及に役立てるのだと思います。

自然の素材がもつパワーを実感!

長野県 宮澤弥生



以前、クッキーを作る時に卵と小麦粉の分量を間違えてしまい、まずくはないけれど販売はできない...というものになってしまいました。子供の友達が遊びに来た時、そのクッキーを出したところ、その子は「おいしい」と言って食べてくれたので、少しおみやげに持たせてあげました。すると次の日、その子のお母さんがこんな話をしてくれました。

「昨日はクッキーをありがとう。帰って来て、あの子ひとりで食べていたのだけど夕飯の支度してる私の所に来て、「お母さんもひとつ食べな!」って、私の口に入れてくれたのよ。こんなこと初めてでものすごく嬉しくなっちゃって!そんな思いやりの行為が出来たきっかけを作ってくれたクッキーだったの。」と、涙ぐんでいました。それを聞いて、私も失敗したとんでもないクッキーが、思いもかけず一組の親子の仲役に役立てたと思うとウルウルと感動してしまいました。失敗作とはいえ、自然の小麦粉と卵のクッキーだからこそ、一人っ子で兄弟に分け与える必要もなく、常に自分ひとり占めの生活をしてきた彼の中に、自分以外の人への思いやりの気持ちを芽生えさせたのでは?自然農法の力の現れなのでは?と思いました。

無施肥無農薬栽培作物の販売予定

2月4、10日 於:伊都能売会館

生産者の方々が直接販売されます。 東京都八王子市長房町 57 090-5445-5745

- きじま平自然農産:もち米、小麦粉、きなこ、大豆、豆菓子、きのこめし
- 荒木自然農園:サツマイモ、ニンジン、イチゴの苗
- 飯塚農園:4日のみ ダイコンの漬物、ダイコン(カット)
- 市川生産グループ:みかん(宅配受付もあります)
- 中島農園:下仁田ネギ、ジャガイモ
- 長柄山自然農園:4日 卵、鶏のクンセイ 10日 卵、ひき肉
- 針貝成代さん:4日のみ クッキー
- 宮澤弥生さん:マドレーヌ、ガレット、プリン、シュークリーム

* バレンタイン用に、ココア味のマドレーヌやガレットを用意しました!注文も受け付けます。



お問い合わせ先:編集部 関谷 TEL:090-5445-5745 e-mail:naturefarming@torek.jp
TOREK活動のホームページもご覧ください。 http://www.torek.jp